

科目名称：	音楽表現指導法 I	
担当者名：	西方 彰	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>ちいさな子ども達の魅せる音楽として感動を呼ぶマーチングであるが、指導時に必要な歩き方や姿勢、動作、ドラムメジャーやカラーガードの技術、楽器の持ち方、演奏の方法、フォーメーションの作り方など指導者は習得すべき項目が幅広く多い。しかし、これらの事は自らが体験し発表の場を目指す事により、比較的容易に習熟度が高まるものと考えている。</p> <p>よって本授業では本学が毎年行うミュージックフェスティバルを発表の場として、ひとつの目標としながらも、将来指導の場に実践的に役立つ技術を知り、経験し、より良い指導者としての十分な知識と考え方を持つようとする事を目的に演習を行っていく。</p> <p>前期は動き方等中心の授業のためリズム室の授業では動きやすい服装で参加すること。又、教科書を事前にしておくことと動作のイメージがつかみやすい。用語などを組み合わせていくため、前期の授業では毎回教科書持参のこと。尚、授業形態は特化音楽の中で分割した2グループを交互に授業する。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
前期においては、マーチングの動作や手具の基本的な扱い方等を習得することで、マーチングのすばらしさを体験しながら各種動作や方法をマスターすることを目標とする。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	
DP (2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP (3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)					0
全学DP (2)					0
全学DP (3)		60		40	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 各地幼稚園、保育園への音楽指導	《経験年数1》35年
	《内容2》 各地幼稚園、保育園へのマーチング指導	《経験年数2》35年
	《内容3》 一般社団法人日本マーチングバンド協会公認指導員	《経験年数3》34年
	《内容4》 小中高校、一般のマーチングバンド指導	《経験年数4》37年
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
停止間の動作及び歩行の考え方	それぞれの動作のスピードや手足の状態、方向転換の角度の正しき	それぞれの動作のスピードや手足の状態を常に意識しながら行っている	それぞれの動作のスピードや手足の状態は正しくないがポイントは意識している	それぞれの動作のスピードや手足の状態が正しくできない
L字動作の理解	歩行の正確さや5メートル毎の方向転換がブレない	それぞれの動作についてしっかりと考えて行っている	歩行はしっかり動作しているが歩幅や方向転換が若干不正確	歩行や方向転換が不正確であり動作途中で修正できない
手具の基本操作	ドラムメジャーボタン・カラーガードの正確な操作ができる	ドラムメジャーボタン・カラーガードの基本的な操作ができる	ドラムメジャーボタン・カラーガードがテンポに合わせてできる	ドラムメジャーボタン・カラーガードの手の位置や操作が曖昧
手具を使用した実践的な振り付け等	グループでの振り付けにおいてリーダー的に行っており振り付け演技も正確	グループでの振り付けにおいて積極的に行っているが振り付け演技が曖昧	グループでの振り付けにおいて協力的に行っているが操作の正確性が乏しい	あまりグループに積極的に貢献していない。演技も不正確

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 幼児のマーチングの解説、現況説明 (教室)	シラバスを読んでおく	10分
第2回 簡単な整列の仕方、停止間の動作 (リズム室)	幼児のマーチングの解説、現況についての復習をしておく	10分
第3回 歩行、方向転換 (リズム室)	簡単な整列の仕方、停止間の基本動作の復習をしておく	30分
第4回 初心者でもできるL字動作 (リズム室)	前回の基本動作及び用語を理解しておく	60分
第5回 L字動作のまとめ (リズム室)	L字の復習をしておく	60分
第6回 コンビネーション(簡単なフォーメーション)で使用する動き (リズム室)	用語の理解をしておく	10分
第7回 コンビネーション① (リズム室)	用語を使用し組み合わせられるようにしておく	10分
第8回 コンビネーション② (リズム室)	用語による動きの確認をしておく	30分
第9回 コンビネーションのまとめ グループワーク (リズム室)	動きの完成度を高めるように練習をしておく	60分
第10回 カラーガーズ(旗)の基本操法 (リズム室)	コンビネーションの復習をしておく	10分
第11回 楽しいカラーガーズの振り付け (リズム室)	基本操法による振り付けを作成しておく	60分
第12回 ドラムメジャー(指揮者)の基本操法 (リズム室)	楽しいカラーガーズの振り付けの復習をしておく	10分
第13回 ドラムメジャーを先頭にパレード (リズム室)	各種サインの復習をしておく	30分
第14回 マーチングパーカッションの基本 (リズム室)	前回の復習をしておく	10分
第15回 まとめ及び小テスト:プレゼンテーション (リズム室)	パチの持ち方や叩き方の復習をしておく	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。  
授業内実技小テスト60% 課題に対して積極的な関与40%の総合評価

#### 課題に対するフィードバック

実技試験は各動作のチェックシートを使用して各個人を採点し、全員に配布する

#### 教科書・参考書

教科書: 「幼児のマーチング改訂版」 西方 彰 自著 毎回使用します。